

望月茂 もちのき 小説家、維新史家。明治二十一年五月、千代田城縣生れ、昭和二十年四月十九日歿（二六八一―一九五五）。舊姓友木。筆名不怠齋主人、中西健吾、伊東研齋、大音龍太、望月紫峰、河上哲、筑波四郎、紫峰寒人、紫峰浪客、豹子頭、里頭巾等。第七高等學校中退。『國民新聞』記者を経て、雑誌『講談俱樂部』初代編輯長。傍ら大衆小説多數執筆。『ちく維新史研究』専心。

著書『憲政史物語』（昭和八年四月十五日新政社）、『藤森天山』（昭和十一年十月二十日藤森天山先生懇話會）、『昭和の軍神曲注入約』（昭和十四年一月二十日八法舎）、『藤田東湖言行録』（昭和十四年十一月二十日三省堂）、『小林芳郎翁傳』（昭和十五年十月一日書齋社）、『七郎回天史』（七郎顯彰會編、昭和十六年十一月二日京都・妙法院門跡事務所。再刊、十七年六月、十七日大日本雄辯會講談社）、有馬新七著『都日記』（編、昭和十八年四月、二十五日大阪全國書房）、『新日本権史』（昭和二十一年八月十日大日本雄辯會講談社）等。文獻『紫峰』望月茂と徳』（昭和五十一年四月十五日望月千枝編）等。